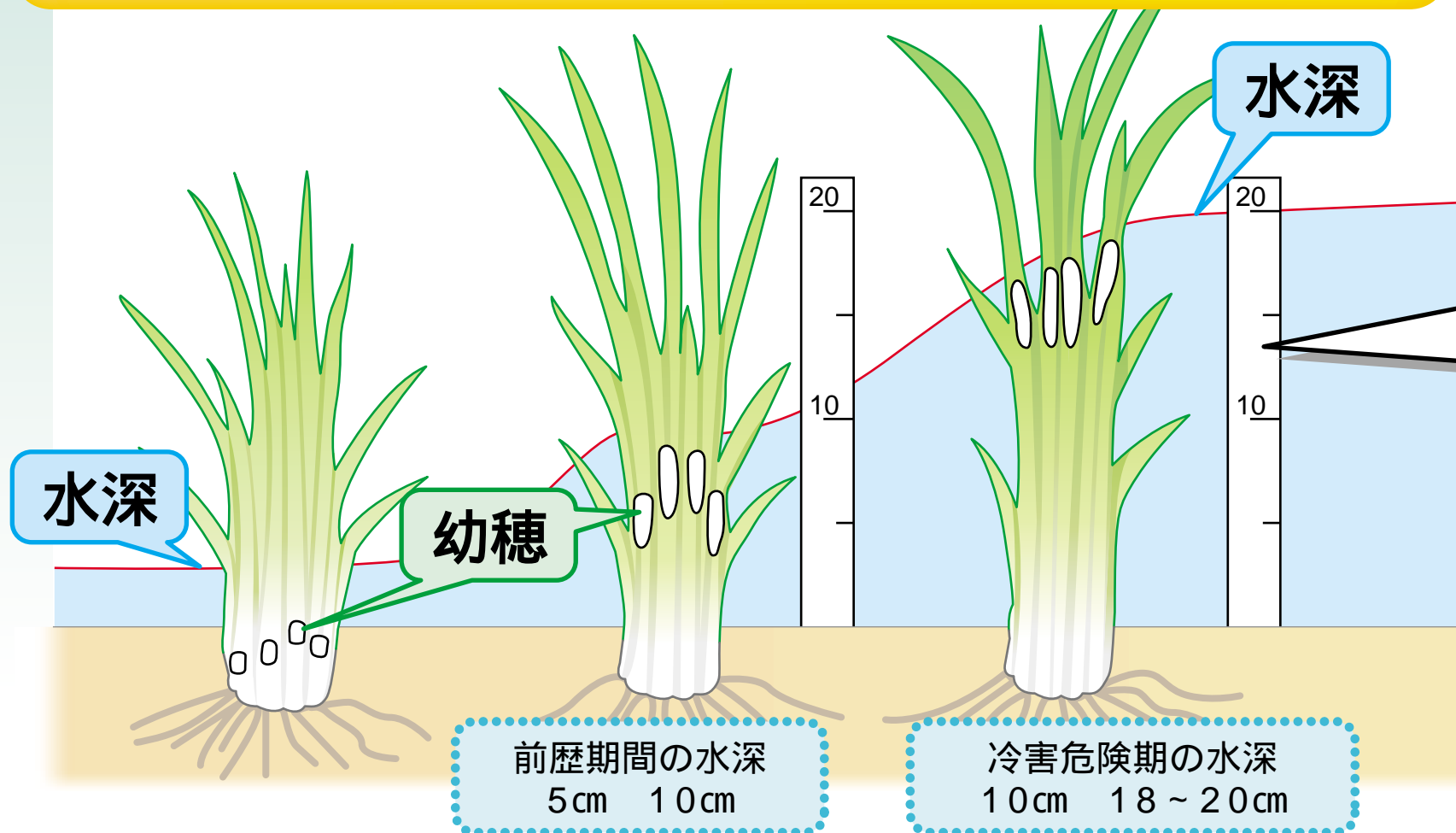


深水管理こそ北海道の米を守る技術



幼穂形成期を確認

6月下旬～7月上旬

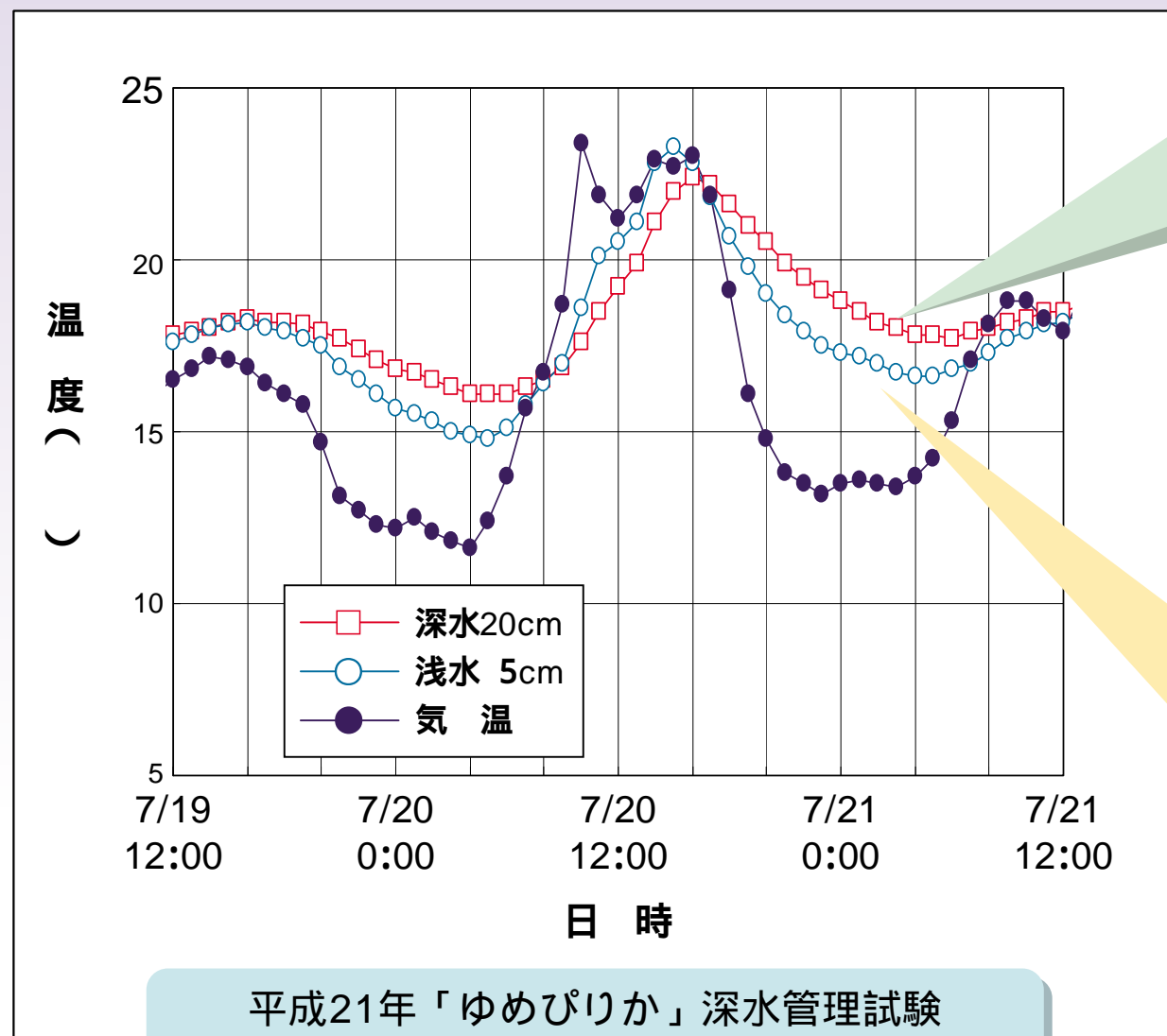
幼穂形成期後の10日間は花粉の基が増える時期。温度が高いほど増加する。

前歴期間

その後の7～10日間は花粉が生長する時期。低温だと花粉にならない。

冷害危険期間

深水管理による幼穂の保護効果



平成21年「ゆめぴりか」深水管理試験
深水水温・浅水水温・気温の比較（中央農試）

- ・平成21年はこの時期、幼穂の先端が地上15～20cmに達していた。
- ・20cmの深水では、大部分の幼穂が水面下であり、水温で保護された。

- ・浅水では、5cmより上の部分が低い気温にさらされるのに対し、深水では保温されていた。
- ・幼穂が水面から出ている場合、低い気温にさらされる。